

# イザーク・ティツィングの「秘密の覚書」翻訳

栗原 福也

イザーク・ティツィング (Isaac Titsingh, 1745-1812) は出島のオランダ商館長として、前後三回長崎に駐在し (1779年11月-80年11月、1781年11月-83年10月、1784年8月-11月)、そのあいだ二度の江戸参府をし、また日本の風俗、文化に親しんだ。1796年、アジアを離れたティツィングは、フランス革命とそれに続くナポレオン戦争の騒然たる世情のなかで、ロンドンついでパリに住みながら、日本で収集した資料を整理し、日本文化に関する著作活動に没頭した。<sup>1)</sup>

ここに翻訳したのは、1783年 (天明三年)、ティツィングが約2年3か月の日本滞在ののち、バタヴィアへの帰任に際して執筆した秘密の覚書である。<sup>2)</sup> 彼は他方で秘密の商館長日記も執筆している。<sup>3)</sup> 秘密の日記乃至文書を記録した理由は、この覚書について言えば、もっとも大きな理由は、以下の翻訳にも述べられているように、日本人情報提供者に迷惑がかかることを憂慮したからである。

『十八世紀における日本と外界』の著者J. F. カイペルによれば、かねて出島のオランダ通詞に不信感を抱く長崎奉行、久世丹後守広民 (安永四年-天明三年、奉行在任) が、同じく、通詞によって奉行との意志疎通を阻まれていることに不満を持つティツィングのもとへ、通詞仲間に極秘で一人の稽古通詞、ナンサブロー (Nansaburo) を派遣し、以後、彼が両者間の秘密の連絡役を勤めた。<sup>4)</sup> ここに訳出した長崎会所の唐・蘭貿易に関する資料およびかなり錯綜している長崎地下役人の組織や役料に関するインフォーマントが果たしてこの人物であったかどうかをいまは確定しえない。

十八世紀末におけるオランダ東インド会社のアジア貿易と対日貿易の趨勢、また、日蘭貿易における両国の利害状況と問題点などについて述べなければ、この機密の覚書の背景と意図を真に理解することにはならないが、それらについての考察は、紙数の関係で他の機会にゆずり、いまはこの覚書の全訳を掲載するだけで満足しなければならない。

本「覚書」底本の閲覧に当たっては、ハーグの国立中央文書館の館員の方々、東京大学史料編纂所の加藤栄一教授、松井洋子氏にお世話になった。翻訳に当たって

は、R. バフォフナー氏、石井千尋氏のご教示に与かり、また先学の研究、著書に多くの示唆を与えられた。ここに記して謝意を表したい。<sup>5)</sup>

なお（ ）内は訳者の補足である。

#### 注

- 1) ティツィングの著作としては、沼田次郎訳『ティチング 日本風俗図誌』新異  
国叢書7、雄松堂書店、昭和45年が出版されている。なお、F. レクイン氏は最近  
10年間にわたりティツィングの個人書簡を網羅的に探索し、昨秋、Frank Lequin  
; *The Private Correspondence of Isaac Titsingh*, Vol. 1, 1785-1811,  
JAPONICA NEERLANDICA, Vol. 4, J. C. Gieben, Amsterdam, 1990  
を刊行された。この往復書簡集(3巻)にはティツィングが交際した日本のオラ  
ンダ通詞、蘭学者、蘭癖大名やヨーロッパの知友、家族と交わした蘭・仏・英・  
独語の書簡約300通(第1巻は215通)が採録される予定である。
- 2) *Secrete Memorie wegens den handel der Companie, en de Chineesen  
en hetgeen verder betrekking heeft op het bestuur der stad Nangasaki.*  
(オランダ国立中央文書館所蔵、ルーシク氏目録、Codenummer inventaris  
: 1-04-12, Archief : Factorij Japan, Inventarisnummer : 661. 旧(植民  
地文書 K. A. 11771)
- 3) *Srcreet Dagregister d. Anno 1782/83 voor't Comptoir. Aparte Aan-  
teekeningen wegens het voor gevallen aan dit Comptoir in den jaar  
1782/83.* なお、沼田次郎「田沼時代とイザーク・ティチング」『日本歴史』  
380, 1980. 参照。
- 4) J. F. Kuiper; *Japan en de Buitenwereld in de achtiende Eeuw,*  
*'s-Gravenhage, Amsterdam, 1921. pp. 145-149.* なお、G. F. Meijlan;  
*Geschiedkundige Overzicht van den Handel der Europezen op Japan,*  
1828, pp. 224-234. 参照。
- 5) 長崎県史編集委員会編『長崎県史 対外交渉編』吉川弘文館、昭和61年  
中村 質『近世長崎貿易史の研究』吉川弘文館、昭和63年  
山脇梯二郎『長崎の唐人貿易』吉川弘文館、昭和47年  
永積洋子『唐船輸出入品数量一覧 1637-1833』創文社、昭和62年  
外山幹夫『長崎奉行』中公新書、1988年  
日蘭学会編『長崎オランダ商館日記』第1、2巻、雄松堂書店、1989-1990.

## 連合東インド会社並びに中国人の対日貿易 および長崎市政に関する秘密の覚書

尊敬する総督、ウィッレム・アルノルト・アルティング閣下、  
並びに蘭領インド評議員閣下らへ

(プロンペンブルフ船上にて、1783年12月6日)

(イザーク・ティツィング)

1780年11月6日づけ、本国(本社)から(バタヴィアへ宛てた)書簡の抜粋への返信において、私はわれわれ会社職員が(長崎における)中国人貿易の調査を怠っているという閣下らのお叱りに対して、(調査の件については)いずれ機会がきたときに報告させて頂くようお願いしました。そのことは、1776年の貴書簡に対し、1780年11月5日と1780年11月22日づけでお送りした普通の書簡中の簡単な返答にもお書きしました。(秘密の漏洩という)結果を考慮して、私は秘密の日記の最後でも同様のこと(上の下線部)を書いておきました。いまや(この秘密の覚書には、)なにも包み隠すことなく書き記すことができますので、私はここで東インド会社および中国人の貿易と長崎会所の取引に関してすべてを詳細にお書きします。情報入手する機会があまりにも遅くなってしまいました。もっと早く入手したとすれば、長崎奉行が示した好意と格別の配慮にもかかわらず、私はよりよき条件のために、われらが望む事項を彼に強く求めざるをえなかったでしょう。しかし、いまや、閣下らがより一層の改善のため、以下に述べる情報に基づいて、そうする時期を判断するまで、数年のあいだは、高くひき上げられた値段で取引を継続しなければならないでしょう。

私は一人の日本人に対して、以下のことについて秘密を厳守するように、非常に堅い誓約のもとに、責任を負っております。閣下らに申し上げますが、非常な費用をかけ、やっとその人の忠誠心を揺るがせることに成功したのですから、この報告を機密書類箱に収め、その写しを会社職員の誰にも渡さぬようもっとも強くお願い致します。(この件につき、)もしも誰かが不用意に口にすれば、毎日、私のもとへ訪れてきた大勢の人々が、そのような犯行に係わったという嫌疑を被り、妻子や家族までもっとも残忍な拷問に処せられるからです。

商品在庫と積荷の数量や売上によって年々著しく変動する価格を年次毎に比較するため、私は1779年、1780年、1781年と私の出島商館滞在期間中の今年度(1783年)

に、長崎会所が会社商品を商人たちに販売した銀額について、会所の帳簿から情報をえました。この情報の真実性に疑問を抱いたので、若干の商品、とりわけ蘇木について、特別に調査をしましたが、調査の結果はすべてここに記した情報と一致しました。そして、普通の書簡で述べたような、(商品)受取の際の、(商品の)量目不足に関する商人たちの苦情は根拠のないものではありません。この報告は東インド会社の取引の利害を白日のもとに曝していますが、閣下らにおかれては、個々の商品について、第一欄で、日本の量目テールを80□として計算した(会社の長崎会所への)販売数量と販売価格を、第二欄で、長崎会所が入札で商人に売立をした価格を、第三欄で、会所がえた純利益とその百分比を読みとって頂きたく存じます。

長崎会所のオランダ商品取引 (1779年)

品目	仕入数量	単位	単価	仕入価額	販売単価	販売価額	利潤額	利潤率
			f.	f.	f.	f.	f.	%
大羅沙	el	2 7/8 el						
猩々緋	" 801 1/2 "	"	5	1393.913	16.18	4510.7	3116.789	223 5/8 s
黒	" 1090 1/2 "	"	3.8	1441.356	8.67	3288.569	1847.213	128 1/8 r
萌黄	" 692 1/2 "	"	3.5	843.043	14.19	3417.939	2574.896	305 3/8 "
花色	" 1354 1/2 "	"	3.2	1507.617	13.49	6355.549	4847.932	321 1/2 "
白	" 50 "	"	3	52.174	35	608.695	556.521	1066 5/8 "
黄色	" 245 "	"	3	255.652	22.36	1905.461	1649.809	645 3/8 s
茶色	" 250 1/2 "	"	3	261.391	16.1	1402.8	1141.409	436 5/8 r
紫	" 97 "	"	3	101.217	17.15	578.626	477.409	471 5/8 "
小羅沙	p.	p.						
猩々緋	" 14 "	"	36	504	100	1400	896	177 3/4 "
黒	" 21 "	"	30	630	73.6	1545.6	915.6	145 3/8 s
花色	" 39 "	"	41	1599	90	3510	1911	119 1/2 r
萌黄	" 33 "	"	30	990	91.81	3029.73	2039.73	206 "
羅背板								
黒	" 18 "	"	14.3	257.4	35.41	637.38	379.98	147 5/8 s
萌黄	" 17 "	"	14.3	243.1	40.36	686.12	443.02	182 1/4 "
花色	" 25 "	"	14.3	352.5	39.39	984.75	632.25	179 3/8 "
猩々緋	" 10 "	"	14.3	143	43.19	431.9	288.9	202 r
へるへとあん								
花色	" 11 "	"	9.9	108.9	27.8	305.8	196.9	180 3/8 "
萌黄	" 15 "	"	9.9	148.5	28.33	424.95	276.45	186 1/8 "
紫	" 5 "	"	10.5	52.5	32	160	107.5	204 3/4 "
猩々緋	" 1 "	"	10.5	10.5	33	33	22.5	214 1/4 "

品目	仕入数量	単位	単価	仕入価額	販売単価	販売価額	利潤額	利潤率
			f.	f.	f.	f.	f.	%
黒	p. 20	p.	9.9	198	25.01	500.2	302.2	152 5/8 "
黄色	" 5	"	9	45	30	150	105	233 3/8 s
きかん奥嶋								
極上	" 473	"	5.6	2648.8	20	9460	6811.2	257 r
上	" 384	"	4.5	1728	16.01	6147.84	4419.84	255 3/4 "
並	" 149	"	3.4	506.6	15.69	2337.81	1831.21	361 1/2 s
二番更紗	" 780	"	1.03	803.1	3.546	2765.88	1962.48	244 1/4 r
木綿紐	po. 2316 1/2	pi.	9.5	183.389	33.2	640.76	457.371	249 3/8 "
胡椒	" 2305 1/8	"	5	96.062	125.3	2406.722	2310.66	2405 3/8 "
白砂糖	" 853051	"	3.1	22037.15	24.154	171704.948	149667.798	679 1/8 "
蘇木								
ビマ	" 55749	"	2.3	1068.355	69.8	32427.335	31358.98	2935 1/4 "
シャム	" 56074 3/4	"	2.58	1205.607	85.2	39813.072	38607.465	3202 3/8 s
象牙	" 2884 3/8	ca.	0.6	1442.187	2.178	5235.14	3792.953	263 r
丁子	" 17627 1/2	"	0.75	11067.187	1.8469	27130.191	16063.004	145 1/8 "
母丁子	" 1429 3/8	"	0.18	214.406	0.782	931.476	717.07	334 3/8 "
木香	" 1106	"	0.5	460.833	1.017	937.335	476.502	103 3/8 "
阿仙葉	" 2948 1/2	"	0.18	442.275	0.7341	1803.745	1361.47	307 7/8 s
鮫皮	p. 702	p.	0.06	42.12	3.11	1483.22	1441.1	342 1/8 "
ミイラ	po. 116	ca.	1.7	164.333	1.91	184.633	20.3	12 3/8 "
山帰来	" 5687 1/2	pi.	3	142.178	31.2	1478.653	1336.475	940 r
総計				55391.645		342756.531	287364.886	

s(ch)=弱

r(m)=強

よって、長崎会所の利潤は 287364.886 グルデン、  
利潤率は 518 3/4 パーセント強です。

(象牙、鮫皮)は目利たちにより、仕分けされ、以下のような値段で商人たちに引き渡されました。

象牙	1等	1斤につき	f. 2.356	鮫皮	1等	1枚につき	f. 7.8
"	2	"	f. 2	"	2	"	f. 1.08
				"	3	"	f. 0.45

(訳注) f. (gulden) = グルデン (20 ストイフェル)

el = エル (約 69 センチメートル)

p. (pees, pies, piece) = ピース (反、箇、枚)

ca. (cattij, cattie) = カティー、斤 (約 616.7グラム、160 匁)

po. (pond, lb.) = ポンド (500グラム、約 130匁)

pi. (picol) = ピコル、擔 (100カティー)

長崎会所のオランダ商品取引 (1780年)

品目	仕入数量	単位	単価	仕入価額	販売単価	販売価額	利潤額	利潤率
			f.	f.	f.	f.	f.	%
大羅沙	el	2 7/8 el						
猩々緋	"	592 1/2 "	5	1030.435	18.52	3816.73	2786.295	270 3/8 r
茶色	"	100 "	3	104.347	20.3	706.087	601.74	576 5/8 "
花色	"	404 1/2 "	3.2	450.226	15.293	2151.658	1701.432	377 7/8 "
黒t	"	1190 1/2 "	3.8	1523.53	9.06	3751.628	2228.098	146 1/4 s
萌黄	"	1185 "	3.5	1442.608	15.9	6553.565	5110.957	354 1/4 r
黄色	"	50 1/2 "	3	52.695	21.591	379.25	326.555	619 3/4 s
紫	"	146 "	3	152.347	18.295	929.068	776.721	509 7/8 "
小羅紗	p.	p.						
花色	"	15 "	41	615	92.4	1386	771	125 3/8 "
黒	"	8 "	30	240	81.56	652.48	412.48	127 7/8 "
猩々緋	"	19 "	36	684	114.4	2173.6	1489.6	217 3/4 r
萌黄	"	15 "	30	450	107.67	1615.05	1165.05	258 7/8 "
羅背板								
黒	"	28 "	14.3	400.4	40.39	1130.92	730.52	182 3/8 "
萌黄	"	28 "	14.3	400.4	47.19	1321.32	920.92	230 "
花色	"	20 "	14.3	286	43.1	862	576	201 3/8 "
猩々緋	"	10 "	14.3	143	50.09	500.9	357.9	240 1/4 "
へるへとあん								
萌黄	"	13 "	9.9	158.7	35.9	466.7	308	194 1/8 s
花色	"	20 "	9.9	198	29	580	382	192 7/8 r
猩々緋	"	4 "	10.5	42	38.1	152.4	110.4	262 7/8 s
黄色	"	5 "	9	45	36.9	184.5	139.5	310 "
紫	"	5 "	10.5	52.5	34.09	170.45	117.95	224 5/8 r
きかん奥嶋								
極上	"	459 "	5.6	2570.4	21.81	10010.79	7440.39	289 1/2 s
上	"	573 "	4.5	2578.5	15.535	8901.555	6323.055	245 1/4 "
並	"	1580 "	3.4	5372	14.32	22625.6	17253.6	321 1/8 r
二番更紗	"	803 "	1.03	827.09	3.493	2804.879	1977.789	239 1/8 "
木綿紐	po. 2324 5/8 pi.		9.5	184.032	31.7	614.088	430.056	231 5/8 "
白砂糖	"961752 "		3.1	24845.26	26.59	213108.214	188262.954	757 3/4 s
鮫皮	p. 6947 p.		0.06	416.82	2.635	18305.345	17888.525	4291 5/8 r
象牙	po. 1478 1/4 ca.		0.6	739.125	3.55	4373.156	3634.031	495 1/2 "
蘇木	" pi.							
ビマ	" 86814 1/2 "		2.3	1663.944	72.9	52736.058	51072.114	3129 3/8 "
シャム	" 25363 1/4 "		2.58	545.31	83.19	17583.073	17037.763	3124 3/8 "

品目	仕入数量	単位	単価	仕入価額	販売単価	販売価額	利潤額	利潤率
			f.	f.	f.	f.	f.	%
胡椒	po. 9210	1/4 pi.	5	383.76	101.8	7813.362	7429.602	1936 "
丁子	" 9901	3/8 ca.	0.75	6188.359	2.145	17698.708	11510.349	186 "
母丁子	" 2412	7/8 "	0.18	361.931	0.856	1721.184	1359.253	375 1/2 "
木香	" 1113	3/4 "	0.5	464.062	1.2	1113.75	649.688	140 "
阿仙薬	" 2963	"	0.18	444.45	0.589	1454.339	1009.889	227 1/4 s
ミイラ	" 116	1/4 "	1.7	164.687	2.876	278.612	113.925	69 1/4 "
総計				56220.918		410627.019	354406.101	

よって、長崎会所の利潤は 354406.101 グルデン、

利潤率は 630 3/8パーセント強です。

恐らくは、商人たちが 1779 年度に送られたジャカトラ産、ジャヴァ産砂糖の区別に納得しなかったため、本年度、白砂糖は、目利たちにより、五等級に仕分けされ、以下のような値段で商人たちに引き渡されました。

白砂糖	1 等	1 斤につき	f. 0.2723	鮫皮	1 等	1 枚につき	f. 8.75
"	2 "	"	f. 0.2679	"	2 "	"	f. 1.089
"	3 "	"	f. 0.2661	"	3 "	"	f. 0.463
"	4 "	"	f. 0.2619	"	4 "	"	f. 0.238
"	5 "	"	f. 0.2613				
象牙	1 "	"	f. 3.9				
"	2 "	"	f. 3.2				

#### 長崎会所のオランダ商品取引 (1781年)

品目	仕入数量	単位	単価	仕入価額	販売単価	販売価額	利潤額	利潤率
			f.	f.	f.	f.	f.	%
大羅紗	el	2 7/8 el						
猩々緋	" 450	1/2 "	5	783.478	20.16	3158.984	2375.506	303 1/4 s
白	" 50	"	3	52.174	36.9	641.739	589.565	1130 "
花色	" 346	1/2 "	3.2	385.669	15.7	1892.191	1506.522	390 r
萌黄	" 737	1/2 "	3.5	897.826	19.6566	5042.345	4144.519	461 5/8 s
黒	" 829	1/2 "	3.8	1096.382	9.45	2726.53	1630.148	148 5/8 r
黄色	" 98	1/2 "	3	102.782	22.39	767.101	664.319	646 5/8 s
茶色	" 98	1/2 "	3	102.782	20.25	693.782	591	375 r
紫	" 98	1/2 "	3	102.782	18.875	646.674	543.892	529 1/8 "
小羅紗	p.	p.						
黒	" 3	"	30	90	86.3	258.9	168.9	187 5/8 "
猩々緋	" 21	"	36	756	122.06	2563.26	1807.26	239 "

品目	仕入数量	単位	単価	仕入価額	販売単価	販売価額	利潤額	利潤率
			f.	f.	f.	f.	f.	%
花色	p. 9	p.	41	369	88.5	796.5	427.5	115 7/8 "
萌黄	" 18	"	30	540	120.4	2167.2	1627.2	301 3/8 s
羅背板								
黒	" 3	"	14.3	42.9	41.89	125.67	82.77	193 "
萌黄	" 3	"	14.3	42.9	49.18	147.54	104.64	243 7/8 "
花色	" 3	"	14.3	42.9	43.9	131.7	88.8	207 s
猩々緋	" 7	"	14.3	100.1	50.58	354.06	253.96	253 5/8 r
へるへとあん								
萌黄	" 5	"	9.9	49.5	36.6	183	133.5	269 5/8 "
黒	" 7	"	9.9	69.3	30.98	216.86	147.56	212 7/8 "
紫	" 3	"	10.5	31.5	29.53	88.59	57.09	181 1/4 s
花色	" 5	"	9.9	49.5	31.43	157.15	107.65	217 1/2 "
猩々緋	" 5	"	10.5	52.5	37.265	186.325	133.825	254 1/4 "
きかん奥嶋								
極上	" 397	"	5.6	2223.2	19.2	7622.4	5399.2	242 7/8 "
上	" 458	"	4.5	2061	15.185	6954.73	4893.73	237 1/2 "
並	" 775	"	3.4	2635	14.6105	11323.137	8688.137	329 "
二番更紗	" 759	"	1.03	781.77	3.569	2708.871	1927.101	246 1/2 r
木綿紐	po. 2445 1/8	pi.	9.5	193.572	316	643.883	450.311	232 1/2 "
胡椒	" 2337 1/8	"	5	97.38	818	1593.14	1495.76	1536 "
白砂糖	" 490210	"	3.1	12663.758	29.15	119080.179	106416.421	840 3/8 "
ビマ蘇木	27972	"	2.3	536.13	86.2	20093.22	19557.09	3647 7/8 s
象牙	" 1997	ca.	0.6	998.5	4.6255	7697.603	6699.103	670 7/8 r
丁子	" 9801	"	0.75	6125.625	2.029	16571.857	10446.232	170 1/2 "
母丁子	" 2332 5/8	"	0.18	349.893	0.736	1430.687	1080.794	308 7/8 "
木香	" 1477 7/8	"	0.18	221.681	0.669	823.915	602.234	271 1/4 s
鮫皮	p. 2801	p.	0.06	<u>168.06</u>	3.59	<u>8568.259</u>	<u>8400.199</u>	4998 r
総計				34815.544		228057.982	193242.438	

よって、長崎会所の利潤は 193242.438 グルデン、

利潤率は 555パーセント強です。

本年度、白砂糖は三等級に仕分けされ、以下の値段で商人たちに引き渡されました。

白砂糖	1 等	1 斤につき	f. 0.2829	鮫皮	1 等	1 枚につき	f. 8
"	2 "	"	f. 0.2996	"	2 "	"	f. 0.878
"	3 "	"	f. 0.292	"	3 "	"	f. 0.3
象牙	1 "	"	f. 4.989				
"	2 "	"	f. 4.262				



▲ 長崎会所のオランダ商品取引 (1783年)

品目	仕入数量	単位	単価	仕入価額	販売単価	販売価額	利潤額	利潤率
			f.	f.	f.	f.	f.	%
大羅紗	el	2 7/8 el						
猩々緋	"	744 "	5	1293. 913	19. 59	5069. 551	3775. 638	291 r
黒	"	942 "	3. 8	1245. 078	9. 76	3197. 885	1952. 807	156 7/8 s
黄色	"	147 1/2 "	3	153. 913	24. 48	1255. 93	1102. 017	716 r
萌黄	"	1406 "	3. 5	1711. 652	20. 1	9829. 774	8118. 122	474 1/4 "
花色	"	747 1/2 "	3. 2	832	17. 44	4534. 4	3702. 4	445 "
小羅紗	p.	p.						
黒	"	15 "	30	450	85. 1	1276. 5	826. 5	183 5/8 "
花色	"	11 "	41	451	93. 29	1026. 19	575. 19	127 1/2 "
萌黄	"	23 "	30	690	127. 1	2923. 3	2233. 3	323 5/8 "
猩々緋	"	9 "	36	324	123. 05	1107. 45	783. 45	241 3/4 "
羅背板								
黒	"	2 "	14. 3	28. 6	50. 9	101. 8	73. 2	255 7/8 "
萌黄	"	2 "	14. 3	28. 6	46. 4	92. 8	64. 2	224 1/2 s
へるへとあん								
花色	"	4 "	9. 9	39. 6	31. 18	124. 72	85. 12	215 "
萌黄	"	5 "	9. 9	49. 5	32. 02	160. 1	110. 6	223 3/8 r
猩々緋	"	3 "	10. 5	31. 5	36. 2	108. 6	77. 1	213 "
黄色	"	2 "	9	18	34. 8	69. 6	51. 6	186 5/8 "
木綿紐	po. 2462 7/8 pi.		9. 5	193. 566	49. 41	1006. 784	813. 218	420 1/8 s
胡椒	"	4737 3/4 "	5	195. 977	76. 7	3006. 291	2810. 314	1434 r
ビマ蘇木	44946 1/8 "		2. 3	855. 231	82. 2	30565. 224	29709. 993	3473 7/8 "
白砂糖	"587465		3. 1	15066. 032	35. 793	173957. 681	158891. 649	1054 1/4 "
象牙	"	2011 1/2 ca.	0. 6	998. 469	6. 0645	10092. 03	9093. 561	905 3/8 s
丁子	"	19783 3/4 "	0. 75	12275. 336	2. 23	36498. 666	24223. 33	197 3/8 "
母丁子	"	4142 "	0. 18	616. 802	0. 653	2237. 622	1620. 82	262 3/4 "
総計				37548. 769		288242. 898	250694. 129	

よって、長崎会所の利潤総額は 250694. 129 グルデン、  
利潤率は667 5/8 パーセント強です。

白砂糖	1 等	1 斤につき	f. 0. 3673
"	2 "	"	f. 0. 3685
"	3 "	"	f. 0. 338
象牙	1 "	"	f. 6. 309
"	2 "	"	f. 5. 82

上述の資料から、長崎奉行により先買特権（除き物）を許され、会社帳簿の売値価格で売り渡される若干のものを除く他のすべての商品において、会所が如何に多額の利潤を挙げているかが分かります。以下の資料は各年度における、樟脳と棹銅の輸出による貿易取引の差額決済を明らかにしています。將軍の帳簿によれば、この銅は1ピコルにつき20グルデンで將軍に引き渡され、会社へは6.175グルデンで、すなわち13.825グルデンの欠損を出して（逆輸で）売り渡されます。

以下の各年度における、長崎会所の対蘭取引決済

品目	会社輸出数量	単価	会所買入価額	単価	会社購入価額	会所利潤額
		f.	f.	f.	f.	f.
1779年			55391.645		342756.531	+287364.886
樟脳 po. 90015	1/4 pi. 9.2		<u>6901.169</u>	11.5	<u>8626.462</u>	+ <u>1725.293</u>
			62292.814		351382.993	+289090.173
棹銅 pi. 9000	" 20		<u>180000</u>	6.175	<u>55575</u>	- <u>124425</u>
総計			242292.814		406957.993	+164665.179
						+68 % rm
1680年			56220.918		410627.019	+354406.101
樟脳 po. 67000	pi. 9.2		<u>5136.666</u>	11.5	<u>6420.833</u>	+ <u>1284.167</u>
			61357.584		417047.852	+355690.268
棹銅 pi. 9000	" 20		<u>180000</u>	6.175	<u>55575</u>	- <u>124425</u>
総計			241357.584		472622.852	+231265.268
						+ 95 3/4 % rm
1681年			34815.544		228057.982	+193242.438
樟脳 po. 50676	pi. 9.2		<u>3885.16</u>	11.5	<u>4856.45</u>	+ <u>971.29</u>
			38700.704		232914.432	+194213.728
棹銅 pi. 6500	" 20		<u>130000</u>	6.175	<u>40137.5</u>	- <u>89862.5</u>
総計			168700.769		273051.932	+104351.228
						+ 61 6/8 % sch
1783年			37548.769		288241.898	+250694.129
樟脳 po. 10029 1)	pi. 9.2		<u>763.324</u>	11	<u>912.67</u>	+ <u>149.346</u>
			38312.093		289155.568	+250843.475
棹銅 pi. 5600	" 20		<u>112000</u>	6.175	<u>34580</u>	- <u>77420</u>
総計			150312.093		323735.568	+173423.475
						+115 3/8 % rm

(+ = 利益) (- = 欠損)

訳注 1) 9956 2/5 ポンドが正しい。



品目	品種	数量	単位	単価
鶏冠草		"	"	0.162
鯛		"	"	0.145
茯苓		"	"	0.1
所天草		"	"	0.35
刻み茯苓		"	"	0.11
鯉節		"	"	0.4~ 0.76
椎茸〔茸の一種〕		"	"	0.35
woolen japanse		"	"	1.45
薩摩樟腦		"	"	0.26
棹銅		"	1 ピコル "	11.5
錫		"	"	15
鉛		"	"	5

最後の二つの商品（錫・鉛）はしばしば生じる海産物の不足の際、帰荷を満たすのに役立ちます。

資金に余裕があれば、彼らは酒、漆器、銀器、鉄製品を買い入れますが、これらの商品は個々の商人から買い入れるので、値段は定められておりません。

中国人が唐銀もしくは唐金を持ち渡った場合、定高外と見做され、その額に見合う煎海鼠もしくは棹銅の輸出が許されます。両者とも中国人の欲しがる商品です。同時に、彼らはまた一番遅く日本へ来港しても、一番先に帰帆する権利を与えられています。

現在、ジャンク船の出航は、帰荷調達のため、積荷を下ろしてから100日までと定められております。

多数の商人のそれぞれへ引き渡される商品のさまざまな量、それらはあまりにも多岐にわたっているので、その正確な金額を書き記すわけには参りませんが、以下のことは御参考になるでしょう。個々のジャンク船の輸入する積荷は割付高（一船当たりの貿易許可額）を超過しているのが普通ですが、これについては、種々の口実のもとに、「商売外」取引が行われるのが常であります。それゆえ、ジャンク船が輸入する商品のさまざまな品質に応じた（会所の）仕入・販売価格を報告することで足りると存じます。そして、中国人には、わが会社（の仕入価格）よりも多く支払うことが許されているので、彼らは樟腦と棹銅に対して（われわれよりも）高い値段を支払っていることを申し添えておきます。

長崎会所の七番船貿易

品目	品種	単位	仕入単価 f.	販売単価 f.	純益 f.	収益率 %
縮緬		1 反	1.8	2.18	0.38	21 1/8 sch
無地	第 1種	"	4.1	8.5895	4.4895	109 1/8 "
"	" 2 "	"	4.09	8.05	3.96	96 3/4 rm
花模様	" 1 "	"	8.5	11.73	3.23	38
"	" 2 "	"	8.8	12.65	3.85	43 3/4 "
ピロード		"	0.67	0.98	0.31	46 1/4 "
白紬〔織物〕		1ダイム	3.5	6.8	3.3	94 1/2 "
絹紬		1 反	2.8	5.98	3.18	113 1/2 "
布		"	1	1.538	0.538	53 7/8 sch
緞子		"	2.8	6.51	3.71	132 1/2 "
ヌイトリ沙綾		"	1.27	3.539	2.269	178 5/8 rm
毛氈		"	0.6	1.18	0.58	96 5/8 "
鼈甲	第 1種	1 斤	3.87	6.34	2.47	63 7/8 sch
"	" 2 "	"	3.31	6.28	2.97	89 3/4 "
木香		"	0.385	0.791	0.406	105 1/2 "
肉桂		"	0.082	0.199	0.117	142 5/8 rm
boest meduijn		"	0.1	0.389	0.289	289
白砂糖	第 1種	"	0.0712	0.3779	0.3067	430 3/4 "
"	" 2 "	"	0.06	0.3751	0.3151	525 1/8 "
茶碗		1 反	0.01	0.2	0.19	1900
総計			47.8182	84.6785	36.8603	

よって、上記価格に従い、七番船積荷の収益率は 77 1/8 弱です。

長崎会所の八番船貿易

品目	品種	単位	仕入単価 f.	販売単価 f.	純益 f.	収益率 %
無地白縮緬	第 1種	1 反	4.1	6.87	2.77	67 1/2 rm
"	" 2 "	"	3.75	5.8	2.05	54 5/8 "
紋縮緬		"	8.5	12.85	4.35	51 1/8 "
毛氈	" 1 "	"	0.6	1.11	0.51	85
"	" 2 "	"	0.6	1.08	0.48	80

品目	品種	単位	仕入単価 f.	販売単価 f.	純益 f.	収益率 %
山帰来		1 斤	0.05	0.128	0.078	156
boest meduijn		"	0.1	0.329	0.229	229
麻黄[mawo]		"	0.07	0.1833	0.1133	161 7/8 sch
小茴香種子		1 斤	0.8	0.197	0.117	146 1/4
黄連[wolin]		"	0.153	0.3756	0.2226	145 1/2 sch
白鮮皮[faksimbi]		"	0.08	0.235	0.155	193 3/4
貫衆[kansju]		"	0.1	0.459	0.359	359
白砂糖		"	0.06	0.37883	0.31883	531 3/8 rm
花瓶		1 箇	0.35	0.991	0.641	183 1/8 "
総計			18.593	30.98673	12.39373	

よって、上記価格に従い、八番船積荷の収益率は 66 5/8 強です。

さらに、中国人は肉桂と白鐵を持ち渡りました。かつて長崎会所は彼らから1斤につき0.15グルデンで肉桂を買い入れていましたが、これらの商品は5年のあいだ再び持ち渡ることを禁じられていたため、商人たちが低い値段を付けたので、彼らはよりよい時機までその販売を延期せざるをえませんでした。

商人たちにより1斤につき0.08グルデンで買い取られた白鐵は、日本ではとりわけ鐘青銅に使われていますが、まだ低い値段が続いております。

#### 長崎会所の九番船貿易

品目	品種	単位	仕入単価 f.	販売単価 f.	純益 f.	収益率 %
無地白沙綾	第1種	1 反	1.8	2.378	0.578	32 1/8 sch
"	" 2 "	"	1.55	2.084	0.534	37 1/4 rm
" 並・広幅・尺長		"	5	10.65	5.65	113
色沙綾		"	3.8	6.07	2.27	59 3/4 sch
白縮緬	第1種	"	4.1	6.83	2.73	66 5/8 "
"	" 2 "	"	4.4	6.89	2.49	56 5/8 "
"	" 3 "	"	4	6.09	2.09	52 1/4
"	" 4 "	"	4.8	8.6	3.8	79 1/8 rm
"	" 5 "	"	4.01	8.2	4.19	104 1/2 sch
" 広幅・尺長		"	8	14.16	6.16	77
同花模様	尺長	"	8.5	13.2	4.7	55 1/4 rm
色緞子	第1種	"	8.5	10.93	2.43	28 5/8 sch

品目	品種	単位	仕入単価 f.	販売単価 f.	純益 f.	収益率 %
"	" 2 "	1 反	8	11.68	3.68	46
"	" 3 "	"	3	6.8	3.8	126 5/8 rm
"	" 4 "	"	7.5	10.39	2.89	38 1/2 "
"	" 5 "	"	3.75	5.1	1.35	36
錦〔織物〕		"	10	12.79	2.79	27 7/8 "
金入り織物		"	10	13.8	3.8	38
黒ピロード		10ダイム	0.5	0.82	0.32	64
花色天鵝絨		"	0.478	1.2	0.722	151 "
布〔織物〕		1 反	1	1.35	0.35	35
毛氈	広幅・厚織	"	2	3.475	1.475	73 3/4
同短尺	第1種	"	0.63	1.153	0.523	83 "
"	" 2 "	"	0.6	1.153	0.553	62 1/8 "
"	" 3 "	"	0.4	0.9456	0.5456	136 3/8 "
鼈甲		"	3.87	6.58	2.71	70 "
沈香		"	0.225	0.45	0.225	100
ビマ蘇木		"	0.07	0.987	0.917	1310
宿砂		"	0.42	0.86	0.44	109 3/4 sch
白砂糖	第1種	"	0.07	0.391	0.321	458 5/8 "
"	" 2 "	"	0.06	0.3832	0.3232	538 5/8 rm
"	" 3 "	"	0.06	0.3797	0.3197	532 7/8 sch
総計			111.093	176.7695	65.6765	

よって、上記価格に従い、九番船積荷の収益率は 59 1/8 弱です。

上記のジャンク船（七・八・九番船）は官商、ハン・チ（Han-chi）<sup>1)</sup>の商館の持船ですが、最近の情報によれば、彼は南京の皇帝（内務府）金庫に30万グルデン、民間の人々に約200万グルデンの債務を負ったまま破産しました。総督（あるいは巡撫）は南京の住人でウ・ヒ（Oe-hi）<sup>2)</sup>と呼ばれる塩の大商人に対して、躊躇する彼を説得し、取引を再開してその利益からハン・チの負債を国庫へ返済するようにしました。それゆえ、下記が一番船はその船主ウ・ヒの持船で、その積荷は私の帰任のとき、すでに以下の値段で会所に売り渡されていました。しかし、まだ、会所による売立は行われておりません。

訳注 1、2) ハン・チは清代の官銅貿易商、范清済であろう。范氏は長崎貿易のため帑利銀（政府が貸し付ける利息付きの貸銀）を借受けたが、完済できなかった。ウ・ヒは范氏の負債を肩代わりした長蘆の塩商、王世英であろう。山脇悌二郎氏、上掲書、178-183頁、任鴻章『近世日本と日中貿易』六興出版、1989年、238-241頁参照。

荷蔵収納の、一番船持渡り商品の価格（会所の仕入価格）

品目	品種	単位	仕入価格（グルデン）
紋沙綾〔オツブ沙綾、otubsaja〕		1 反	1.8
無地沙綾〔マエ紋沙綾、maemonsaja〕		"	3.7
並沙綾〔並沙綾、namsaja〕		"	2.15
白縮緬〔一番白縮緬〕	第1種	"	4.5
"〔二番 "〕	" 2 "	"	4.1
"〔三番 "〕	" 3 "	"	4.35
白縮緬〔ろ番 " ろノ字を付す〕	" 3 "ろ番	"	3.95
白縮緬〔四番 "〕	" 4 "	1 反	4.5
"〔ろ番 " ろノ字を付す〕	" 4 "ろ番	"	4.1
"〔五番 "〕	" 5 "	"	4.4
"〔六番 "〕	" 6 "	"	5.2
"〔ろ番 " ろノ字を付す〕	" 6 "ろ番	"	4.8
"〔七番 "〕	" 7 "	"	4.45
紋縮緬〔一番紋縮緬〕	第1種	"	8.5
"〔二番 "〕	" 2 "	"	8.8
"〔三番 "〕	" 3 "	"	8.5
色緞子		"	15.3
色襦子		"	22
色紋天鵝絨		"	8.5
色へるへとあん		"	16.5
中国織物〔絹紬〕		"	2.8
毛氈〔一番毛氈〕	第1種	"	0.63
"〔二番 "〕	" 2 "	"	0.6
"〔三番 "〕	" 3 "	"	0.4
麻絹〔クスマガイ、koesoemagai〕		1 斤	0.2
絹糸〔テグス〕		"	4
犀角		"	5
薬〔コウォルム、koworm〕		"	0.6
山帰来		"	0.0525
板榔子		"	0.05
肉桂		"	0.1575
薬〔連翹〕		"	0.07
白砂糖		"	0.06
シャム蘇木		"	0.06
中国紙〔大唐紙、odoozi〕		1 連	3.5
"〔 " いノ字を付す〕		"	1.3



"	〔 " 　ろノ字を付す〕	"	1.2
絵画	〔一番エフ、ietsban jewa〕 第1種	1 枚	0.12
"	〔二番エフ、niban jewa〕 " 2 "	"	0.09
陶器	〔一番井〕 " 1 "	1 箇	0.11
"	〔二番井〕 " 2 "	"	0.06
茶碗	〔一番茶碗〕 " 1 "	"	0.05
"	〔二番茶碗〕 " 2 "	"	0.032
小皿	〔小鉢〕	"	0.025
トタン	〔totan〕	1 斤	0.08

さて、会社並びに中国人の取引に関して挙げた情報から、われわれは確信をもってつぎのように申し上げることができます。（日本人の）欲する商品を積んだ二艘の（会社の）船と定められた隻数のジャンク船の入津により、長崎会所はおよそ四十五万日本テール — 1 テールは80□ — という高額の純利益をえており、しかも、この額には看板貿易（脇荷商売）による会所の利益は含まれていないので、利潤はさらに多いと。また、以下のことは疑いえません。大坂、ミヤコ（京都）、堺、兵庫、その他の大商業諸都市における將軍の収入は主として、そこへ運びこまれる輸入商品への課徴金から生じます。また、將軍は銅山の採掘により、この国にとって厄介者でしかない数千人の失業者に雇用の機会を与えております。なぜ、厄介者かといえは、住民の数が少なくて多くの土地が耕されぬままになっている他の国々とは大いに異なり、この国では少しの収穫でもあれば、高山の頂きに至るまで、寸土といえども作物が植えられているからです。さらに、財貨の流通は津々浦々にまで開かれており、どんな小さな部落にまでも影響を与えております。そして、これらのことは、すべてを合わせ考えて見るに、主として棹銅をめぐって動いており、その銅は鉾山に閉じ込められていれば、死せる無益の物体であります。したがって、外国人との貿易こそは日本に力と生命を吹き込む魂であり、それがひとたび不活発になれば、致命的な活動停止によって全組織を衰弱させるであろうということは、誰でも容易に賛成するでしょう。

奉行は個人的な帳簿を文書箱に保管しているので、彼の真の収入についての情報を入手するのは不可能でした。しかし、オランダ人・中国人・日本人の八朔銀（fassak）から成る礼銀の額はすべてでおよそ30000グルデンに達します。

彼ら奉行はいずれも、われわれの商品から、毎年、2000グルデン分の、また中国人（唐人）の商品から4000グルデン分の先買（除き物）をすることを認められてい

ます。しかし、会社の商品は中国人の商品よりも低い値段が付けられているので、計算をすれば、両方の商品はほぼ同額になるでしょう。奉行らは（会所の）仕入価格よりも50パーセント高い金額を会所へ支払っております。

將軍の代官への礼銀 . . . . .	f. 2800
9人の町年寄への礼銀は一人当たり . . . . .	f. 2000
勘定方が会社の商品から許されている除き物の額 . . . . .	f. 40
“ 唐人の商品 “ “ . . . . .	f. 80
普請役が会社の商品 “ “ . . . . .	f. 30
“ 唐人の商品 “ “ . . . . .	f. 60

両者（勘定方・普請方）は会所の仕入値より50パーセント高い額（を支払います。）奉行への御目付として付け加えられている勘定方はこれ以外のいかなる贈り物を受け取ることも、死刑をもって禁じられています。

將軍の代官、町年寄、会所調役、糸割符宿老、年番通詞・事は除き物に対し（会所の）売値で支払わなければなりません。老中、大名の場合も同様ですが、彼らには書物および食料品の除き物しか許されておられません。また対馬の領主は胡椒と蘇木を朝鮮人に供給しておりますが、胡椒に対しては（会所の）売出価格で支払っています。朝鮮人はこの島でのみ貿易を認められ、対馬領主はそのために、毎年棹銅1000ピコル（の配銅）を許されております。朝鮮は非常に寒い国なので、貴族たちは挽いた胡椒を手や足になすり付け、非常に効き目があるとしています。

將軍の代官の帳簿から、將軍が長崎という領地から徴する収入額を明らかにしようとして、—これは一般的に言って、外国人との交易から生ずる君主（將軍）の収益をより明らかに示すために必要です—努力を重ねましたが不成功に終わりました。したがって、奉行所の帳簿に基づいて、將軍の（長崎における）年々の負担を、10年間の平均で、あるいは前年度を除く1772年から今年（1783年）までのあいだの平均で計算し、例示することで満足するほかはありません。

外国人の流入によって、小さな村落から非常に大きく豊かに成長し、國中一等の商業地と見做されているこの都市（長崎）は、幕府の食欲から免れることができず、早々に大村の領主から幕府の所領へと編入され、そして、幕府は全貿易を次第に自らの手中に収めました。しかし、それによって甚大な損失を被った長崎市民の意をいくらかでも迎えるために、いくつかの恩恵を付与し、將軍の好意と庇護を彼らに保障することが認められたのです。ともあれ、彼らは好むと好まざるとにかかわらず、以下に述べられていることに甘んじなければなりません。

日本のいづこの天領であれ、将軍・奉行の帳簿または公文書簿冊（人別帳、宗旨改帳）に一人の市民として載せられるときは、特別の勤務によって将軍あるいは領主からその権利を得ている者以外には、自分の姓を記載することを決して認められません。けれども、長崎の居住者はこの町で生まれたか、他処からか来住したかのいずれを問わず、自分の持家のある者は姓の記載を許されております。こうして、彼らは長崎町人〔Nagasacki tionin〕と呼ばれるか、あるいは所属する町名をもって呼ばれ、一目置かれております。

他の地方の住民は家屋を建て、耕地を開発すれば、地祖の支払を免れませんが、ここ長崎の住民は免除され、それどころか、長崎の住民で、自分の持家に住み、自分の田畑を耕すすべての者に対し、その土地の広さに応じて、幕府は年々、一定の金額（地下銀）の配分を負担しています。それは箇所銀〔kasowari gin, 箇所割銀〕と呼ばれ、今日に至るまで続いております。長崎の79の町と、これらの町に属する地域で、

箇所銀は . . . . . f. 52850

同様に、竈銀〔kammado gin〕という名前で、借家に住み、田畑を小作しているすべての者に（与えられる）額は . . . . . f. 34500

また、貧者は貧家御救米〔finkamaij, 貧家米〕と呼ばれ、一定量の米を年々配分される恩恵に与かります。その額は . . . . . f. 4000

日雇人足への日当、用紙、墨、筆、その他の必需品、さらに、同じく奉行所で消費されるものなど、会所の経費は、約 . . . . . f. 4000

大波戸〔mosseltrap, 大波戸の階段〕の出費、（オランダ）船やジャンク船、さらにまた一年を通じて波止場の警固に使用される船、また、奉行の用に供される船のための経費は、約 . . . . . f. 6000

将軍の建築物、橋梁、岸壁、囲塀、船などの修理に、約 . . . . . f. 7500

#### 将軍の全役人の役料

	扶持米（俵）		役料銀（グルデン）	
	一人当たり	合計	一人当たり	合計
将軍の代官 一名 . . . . .	--	100 . . . . .	--	f. 6640
町年寄 九名 . . . . .	60	540 . . . . .	f. 4200	f. 37800
糸割符宿老 三名 . . . . .	42	126 . . . . .	f. 1000	f. 3000
目付 二名 . . . . .	30	60 . . . . .	f. 800	f. 1600
吟味役〔最高の会所役人〕 四名 . . . . .	30	120 . . . . .	f. 900	f. 3600

請払〔次席の会所役人〕十九名	18	342	f. 600	f. 11400
請払並〔下級会所役人〕二十七名			f. 350	f. 9450
上席筆者 二名			f. 200	f. 400
筆者並 七十二名			f. 150	f. 10800
金目利 二名			f. 130	f. 260
銀目利 三名			f. 130	f. 390
秤量役 三名			f. 120	f. 360
荷蔵番 五名			f. 120	f. 600
小役〔見張〕二十七名			f. 90	f. 2430
手伝〔番人〕十九名			f. 60	f. 1140
小使 四十三名			f. 75	f. 3225
日雇頭 四名			f. 30	f. 120
書物目利 三名			f. 99	f. 297
伽羅目利 四名			f. 100	f. 400
鮫皮目利 五名			f. 133	f. 665
端物目利 十名			f. 250	f. 2500
筆者 二名			f. 25	f. 50
薬種目利 十三名			f. 395	f. 5135
筆者 四名			f. 50	f. 200
油薬目利 一名			--	f. 40
絹糸目利 二名			f. 200	f. 400
ietokate yakoe〔絹目利〕三名			f. 230	f. 690
茶碗薬手目利 二名			f. 110	f. 220
唐物道具手本見 三名			f. 151	f. 453
唐絵目利 四名			f. 150	f. 600
小球目利〔kenners van ballen als pedro porco &〕二名			f. 86	f. 172
唐皮手本見 一名			--	f. 86
牛皮手本見 二名			f. 70	f. 140
薬種目利 一名			--	f. 23
惣町乙名 七十七名			f. 400	f. 30800
組頭 百五十名			f. 30	f. 4500
遊里、寄合町・丸山町乙名 二名			f. 200	f. 400
組頭 二名			f. 20	f. 40
御座船御船頭 二名	80	160	f. 150	f. 300
水主 十名	33	330	f. 15	f. 150
船番触役 二名	18	36	f. 300	f. 600
船番 二十名	12	240	f. 170	f. 3400
野母遠見番 十名	23	230	f. 20	f. 200
小瀬戸遠見番 二十名	23	460	f. 20	f. 400

唐人番触頭 二名	29	58	f. 205	f. 410
唐人番 十八名	29	522	f. 180	f. 3240
出島番所筆者 二名	5	10	f. 60	f. 120
唐人屋敷番所筆者 二名	5	10	f. 60	f. 120
小使 三名	2	6	f. 50	f. 150
御武具蔵方 五名			f. 250	f. 1250
御武具蔵番 五名	9	45	f. 70	f. 350
船番触頭〔下検使〕 三名	70	210	f. 280	f. 840
船番 十二名	48	576	f. 245	f. 2940
船番並 三十五名	12	420	f. 210	f. 7350
真鍮器物目利 二名			f. 50	f. 100
料理人〔接待掛〕 二十三名			f. 75	f. 1725
町使触頭 三名	70	210	f. 270	f. 810
町使 十一名	48	528	f. 240	f. 2640
町使並 三十五名	12	420	f. 220	f. 7700
散使 七名	12	84	f. 185	f. 1295
出島乙名 二名			f. 1360	f. 2720
" 組頭 二名			f. 130	f. 260
" 乙名筆者頭 二名			f. 180	f. 360
" 乙名筆者 七名			f. 140	f. 980
" 小使 十三~十五名			f. 80	f. 1040
" 日行使 一名			--	f. 60
" 乙名小使 四名			f. 60	f. 240
" 料理人 三名			f. 85	f. 255
" 日用頭 八名			f. 13	f. 104
" 廻火消 三名			f. 60	f. 180
蘭通詞目付 一名	--	30	--	f. 700
" 大通詞 四名	30	120	f. 1200	f. 4800
" 小通詞 四名	18	72	f. 600	f. 2400
" 小通詞並 四名			f. 350	f. 1400
" 小通詞末席 七名			f. 300	f. 2100
" 稽古通詞 二十名			f. 300	f. 6000
" 内通詞小頭 九名			f. 220	f. 1980
" 通詞筆者頭 二名			f. 190	f. 380
"       並 八名			f. 150	f. 1200
" 内通詞小頭筆者 六名			f. 74	f. 444
"       小使 十名			f. 60	f. 600
"       一名			--	f. 30
荷漕船船頭 五名			f. 6	f. 30

唐人屋敷乙名 三名 .....			f. 960	f. 2880
" 組頭 四名 .....			f. 600	f. 2400
" 筆者頭 三名 .....			f. 200	f. 600
" 筆者 九名 .....			f. 150	f. 1350
" 日行使 二名 .....			f. 150	f. 300
" 賄い所番人 二名 .....			f. 60	f. 120
" 小使 二十五名 .....			f. 65	f. 1625
唐通事目付 二名 .....			f. 700	f. 1400
" 大通事 四名 .....			f. 1200	f. 4800
" 小通事 五名 .....			f. 700	f. 3500
" 並 四名 .....			f. 400	f. 1600
" 末席 十四名 .....			f. 300	f. 4200
" 稽古通事 三十三名 .....			f. 300	f. 9900
" 通事 十六名 .....			f. 190	f. 3040
シャム通事 一名 .....			--	f. 30
東京通事 一名 .....			--	f. 30
モフル通事 一名 .....			--	f. 30
唐通事筆者頭 二名 .....			f. 190	f. 380
" 並 十名 .....			f. 150	f. 1500
唐人屋敷小使 二十六名 .....			f. 75	f. 1950
奉行所筆者 十名 .....			f. 250	f. 2500
" 番士 六名 .....			f. 60	f. 360
" 門番 [noekoegin yakoe] 二名 .....			f. 300	f. 600
" 筆者 二名 .....			f. 60	f. 120
" 小使 二名 .....			f. 36	f. 72
" 普請方 約五名 .....			f. 300	f. 1500
" 普請方付筆者 九名 .....			f. 95	f. 855
" 大工方 五名 .....			f. 80	f. 400
" 波止場役 二名 .....			f. 300	f. 600
" 筆者 二名 .....			f. 90	f. 180
" 小使 二名 .....			f. 50	f. 100
御検使用船水主 三十三名 .....			f. 5	f. 165
上級医師 二名 .....			f. 50	f. 100
牢屋医師・外科 十名 .....			f. 40	f. 400
牢守 一名 .....	--	8	--	f. 180
牢番 十名 .....	2	20	f. 50	f. 500
御蔵方 十二名 .....	12	144	f. 260	f. 3120
" 筆者 二名 .....	5	10	f. 150	f. 300
" 番人 二十二名 .....	11	242	f. 120	f. 2640

" 小使 七名	5	35	f. 70	f. 490
春徳寺、向井氏 二名	30	60	f. 650	f. 1300
御書物改 七名			f. 240	f. 1680
筆者 二名			f. 80	f. 160
小使 二名			f. 50	f. 100
諏訪社用人 五名			f. 100	f. 500
御用物箱作り 三名			f. 200	f. 600
奴僕 三名			f. 20	f. 60
御用時計方 一名			--	f. 360
御用遠眼鏡方 一名			--	f. 300
ケーキ作り 一名			--	f. 60
奴僕 二名			f. 30	f. 60
細工師 十三名			f. 20	f. 260
鑄錢所見張役 一名			--	f. 200
" 見張番 三十名			f. 200	f. 6000
4ヶ村庄屋 四名			f. 100	f. 400
奉行所海上見張役 二名			f. 15	f. 30
銅秤量役 二名			f. 65	f. 130
煎海鼠目利 二名			f. 200	f. 400
日吉丸(参府用船) 船主 一名			--	f. 100
組頭 三名			f. 400	f. 1200
番人 六名			f. 70	f. 420
舶来歎世話役 五名			f. 250	f. 1250
小使 二名			f. 75	f. 150
代官用人 六名			f. 75	f. 450
" 筆者 二名			f. 200	f. 400
年番町年寄筆者 二名			f. 430	f. 860
出島門番 九名			f. 100	f. 900
糸割符宿老筆者 六名			f. 105	f. 630
" 小使 十六名			f. 60	f. 960
諏訪社神職 一名			--	f. 5680
下級神職 一名			--	f. 500
大坂銅座掛 三名			f. 380	f. 1140
" 筆者 三名			f. 130	f. 390
" 小使 四名			f. 50	f. 200
江戸定宿主人 一名			--	f. 694
京都 " 一名			--	f. 479
大坂 " 一名			--	f. 531
小倉 " 一名			--	f. 231

下関	"	一名	.....	--	f. 50
ほかに、加役料と称し、年々、持回りの特別役料					
年番町年寄	二名	.....			f. 3500
会所役人	二十七名	.....			f. 4150
乙名	十八名	.....			f. 3124
年番・別段売掛唐大通事		.....			f. 3120
"	"	唐小通事	.....		f. 1800
"	"	唐小通事・小通事並・小通事末席・稽古通事の手伝	.....		f. 3130
年番蘭大通詞	一名	.....			f. 2500
"	蘭小通詞	一名	.....		f. 1290
脇荷掛蘭小通詞	一名	.....			f. 350
脇荷物見張蘭小通詞	一名	.....			f. 229
町方検使	一名	.....			f. 700
薬種目利	一名	.....			f. 200
端物目利	二名	.....			f. 200
毎年、参府して長崎町に関し報告を行う町年寄の旅費	一名	.....			f. 4500
"	"	取引	"	"	糸割符宿老
					一名
					f. 3500

よって、將軍の毎年の負担は、約 ..... 6890 (俵) ..... f. 433154

これらの役銀の支払いは、会社と中国人との関連でいへば、取引の決算のとき、この両者によって長崎会所へ払い込まれるのですが、役銀の三分の二は長崎領（天領）各地から將軍に納められる年貢米で、また三分の一は現銀で給付されます。残りの貿易利銀は毎年小判で江戸の御金蔵に運上されますが、その額はかなりの金高に達します。

前年度、会社の取引はまったく行われず、中国人の取引もきわめて僅かしか行われなかったため、將軍は（長崎の）役人全体では、全収益の五分の三も支出することになりました。したがって、すべての日本人から非常に貪欲だと考えられている將軍にとって、この事態がいかに残念であったかを、また、会社の貿易取引が中止させられるという危険を冒すことなしに、近い将来にあえて何かを行うことはできないということを、閣下らには容易に御明察のことと存じます。まして、何人かのもっとも身分の高い領主たちは怒りを込めて、自らを閣老らによって閉じ込められている奴隷的な隷属状態だと考えており、險惡な事態を懸念させています<sup>1)</sup>。

訳注 1) ここで、もっとも身分の高い領主たち (aansienlijkste landsheeren) とは、



田沼主殿頭（意次）、同山城守（意知）父子、薩摩藩主、島津重豪、丹後福知山藩主（朽木昌綱）、長崎奉行、久世丹後守広民らを指していると思われる。ティツィング『日本風俗図誌』216-267頁、沼田次郎氏、上掲論文およびJ. F. Kuiper; Japan en Buitenwereld, pp. 149-150 参照。

私の（バタヴィアへ向けての）出発の当日、奉行から私のもとへ、通詞には内緒で会社の件につき配慮してくれることになっている二名の用人の名前が届けられました。私はわが後継者（ヘンドリック・カスペル・ロンベルフ）に、彼ら二人と、一人の通訳（の名前）を知らせ、何か生じた場合には、彼らを使うことができるように致しました。

（以上の）私の調査が閣下らの御希望に叶うことを望むとともに、厚い御庇護を賜らんことを。閣下らとその御任務と御家族とに主の恩寵が与えられんことを祈りつつ。

敬具

プロンペンブルフ船上にて、  
千七百八十三年十二月六日

閣下らの忠実なるしもべ  
イザーク・ティツィング

## あ と が き

上にみたように、ティツィング「秘密の覚書」の内容は長崎会所の唐・蘭商品取引による収益の調査、および長崎会所の諸経費、役料、町方への地下銀配分に関する報告から成り立っている。オランダ人がすでに平戸商館時代から競争相手のポルトガル人・中国人の取引に並々ならぬ関心を抱き、あらゆる手段を使って絶えず調査を怠らなかつたことは、平戸・長崎商館長の日記から明らかである。しかし、本覚書は唐人貿易に関する調査というよりも、長崎会所が唐・蘭貿易においていかに過大な利銀を獲得しているかを暴露し、さらに、会所の支払う巨額の諸経費、役料、地下銀配分（現銀433154グルデン、扶持米6890俵）の詳細な報告を通じて、会所の貿易利銀がいかに大きいかを逆照射することを意図しているように思われる。

訳者は本覚書が東インド会社の対日貿易戦略における具体的、積極的な提言を意味するものであるかどうかを早急には解説しえないが、他方で、わが長崎における

唐・蘭貿易および長崎会所に関する史料として、覚書の内容に大いに興味をそそられたことも事実である。会所貿易ことにその官営化に関しては、近年、森岡美子、箭内健次、太田勝也、山脇悌次郎、中村質の諸氏によって、すぐれた研究が発表されてきたが、ここで簡単に触れておきたい。

貞享2年(1685年)、徳川幕府は対蘭貿易額の枠を銀3000貫目、唐船、銀6000貫目に制限するいわゆる定高制を導入し、さらに1715年の正徳(5年)新令によって、貿易の仕方に一層の規制を加え、入津蘭船の隻数を1年に2隻、貿易額銀3000貫目(うち銅150万斤)、唐船30隻、銀6000貫目に抑え、幕府の貿易制限策はそれ以後も強化されるのみであった。これらと前後して、勘定奉行、荻原重秀は幕府の財政窮乏打開策の一環として、元禄8年に代物替商売を認可し、同11年には長崎会所を創設し、翌年、長崎地下助成金11万両を除く貿易利銀の収公制度を確立し、ここに幕府による直接的な貿易管理、いわゆる官営貿易と貿易利銀の財源化が開始されたのである。

元禄11年(1698年)設立された長崎会所(Geldkamer)は唐・蘭貿易における日本側を代表する窓口で、貿易業務その他のすべてをとりしきる機関であって、唐船・蘭船の持ち渡った一切の商品の買入、商品の入札、値組み、収益計算、輸出品の銅・俵物の調達、引渡その他の業務、貿易利銀の地下配分、運上など一切を担当した。すなわち唐・蘭貿易が官営貿易と呼ばれるゆえんである。

しかしながら、官営化の別の側面として、覚書の役料表に見たように、町年寄を初め多数の地下役人(これらはすべて長崎市民である)は貿易業務の一端を担うことにより仕事と給料を得ていたのみでなく、一般市民に至るまで、家持は竈銀を、借家人は貧家米を貿易利銀から配分された。中村質氏が述べられているように、「貿易利銀長崎投下(「地下助成」)が、市民の要求と、幕府奉行による貿易管理・都市政策的意図のもとに、漸次拡大と均霑化の方向にあり、市法期にみられた都市長崎の特権と借家人を含む利銀の配分慣行は既得化して、定高制下においても基本的には存続した」のである。(中村氏上掲書、316頁。)長崎奉行による都市政策的意図については、私には必ずしも分明ではないが、いずれにせよ、ポルトガル人、中国人、オランダ人との貿易を通じて形成され強化された長崎市民の既得權益擁護の要求と長崎奉行による支配意志とのあいだの妥協と均衡の結果として、恐らくは世界に類例を見ない町ぐるみの官営長崎株式会社があったと言えよう。